

日本水道協会 全国地震等緊急時訓練
平成30年度応援訓練 災害対策方法等情報交換会

北海道地方支部の災害時への取組みと
北海道胆振東部地震における被災地への支援活動

平成30年11月 7日（水）
札幌市水道局給水部計画課
危機管理担当係長 猪子 敬之介

目次

1. 北海道地方支部の災害時への取組

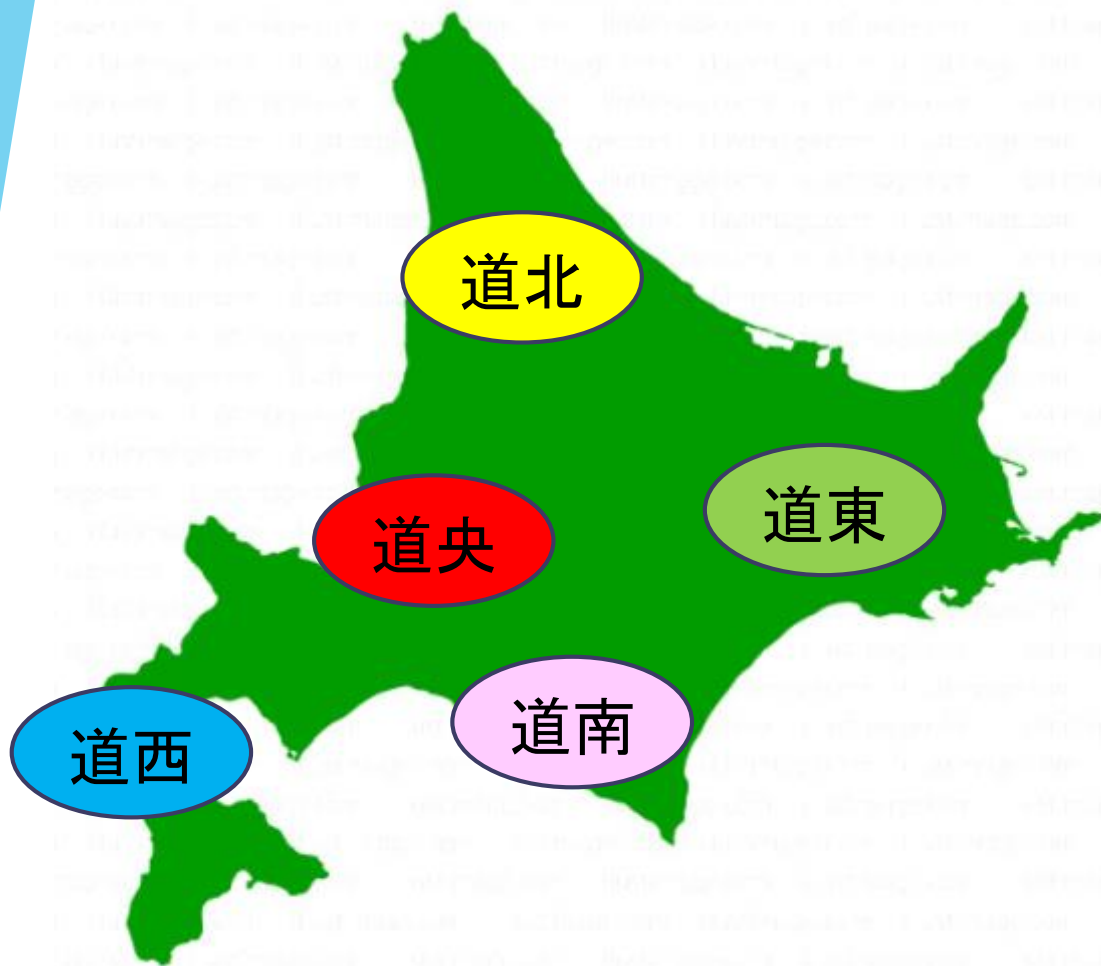
- (1) 第11回災害時相互応援訓練
- (2) 災害時相互応援に関する協定・指針の改定(調査隊の派遣)
- (3) 千島海溝沿い超巨大地震検討小員会の発足

2. 北海道胆振東部地震における被災地への支援活動

- (1) 調査隊の派遣
- (2) 現地対策本部の設置
- (3) 応援活動

1. 北海道地方支部の災害時への取組

(1) 第11回災害時相互応援訓練（全道訓練）



北海道地方支部

支部長：札幌市

5地区協議会

道央地区：千歳市

道東地区：釧路市

道西地区：函館市

道南地区：室蘭市

道北地区：旭川市

1. 北海道地方支部の災害時への取組

(1) 第11回災害時相互応援訓練（全道訓練）

- 目的：支部会員相互の連絡体制および応援体制の確立
- 期 日：平成29年 6月22日(木)～23日(金) [2日間]
- 訓練内容：情報伝達訓練、応援訓練
- 訓練方式：シナリオ開示トレース型訓練
- 被害想定：直下型地震が発生し札幌市内で震度7を観測、断水率34%
- 座 学：熊本地震の活動報告、財政支援措置、道内の応援体制のあり方
- 参加者：道内39事業者90名、視察34名

情報伝達訓練



応援訓練(応急給水訓練)



1. 北海道地方支部の災害時への取組

(2) 災害時相互応援に関する協定・指針の改定

第8条（調査隊の派遣）を追加

地方支部管内において広域的な断水が発生したときに被災会員に対して調査隊を派遣できるもの

【背景】

平成28年台風10号において、3地区を跨いだ広域的な断水が発生。情報が入り辛く、被災会員の支援ニーズが把握できずに、結果として断水解消されるまでに時間を要した

【派遣基準】

- 地方支部管内において震度6強以上の地震が発生したとき
- その他、支部長が必要と判断したとき

例) ①地方支部管内の複数の地区において災害等による断水が発生したとき

②被災した地区との連絡が途絶したとき

平成30年7月18日に北海道地方支部総会で承認
7月19日から施行

支部規則 災害時対応様式集

公益社団法人日本水道協会北海道地方支部

支部規則 災害時対応様式集

1. 北海道地方支部の災害時への取組

(3) 千島海溝沿い超巨大地震検討小委員会の発足

千島海溝沿いの地震活動の長期評価（第三版）のポイント

(概要1)

地震調査研究推進本部 事務局

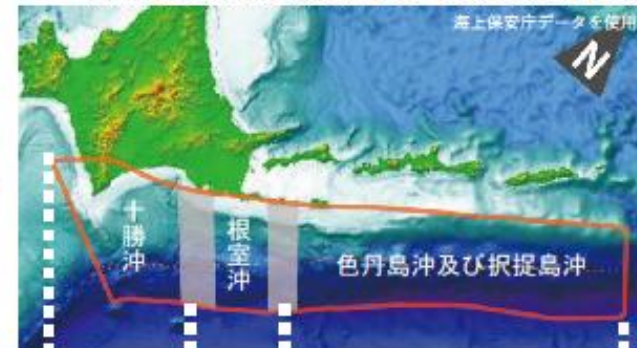
1. 海溝型地震の長期評価

- 地震調査研究推進本部の下に設置されている地震調査委員会は、**防災対策の基礎となる情報を提供するため、将来発生する可能性のある地震の場所、規模、確率について評価し、これを長期評価として公表している**
- 海溝型地震とは、海のプレートと陸のプレートとの間のずれによって生じるプレート間地震（プレート境界地震）と、海のプレート内部の破壊によって発生するプレート内地震を指し、大きな津波を伴うこともある**



3. 千島海溝沿いで発生する地震の規模・確率

(今後30年以内の地震発生確率 2017年1月1日時点)



2. 改訂のポイント

- 東北地方太平洋沖地震を踏まえ、津波堆積物から**超巨大地震(17世紀型)**を評価
- 過去の地震の震源域に多様性がある**と考え、北方領土側の領域を統合して評価
- 三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価を踏まえ、海溝寄りのプレート間地震や海溝軸外側の地震を評価

プレート間地震

4. 評価のポイント

- 北海道東部に巨大な津波をもたらす「**超巨大地震(17世紀型)**」は、発生から400年程度経過し、**切迫している可能性が高い**
- M7程度の地震はどの領域でも、高い頻度で発生している

プレート内地震

評価対象地震\領域	十勝沖	根室沖	色丹島沖及び択捉島沖
超巨大地震(17世紀型)	M8.8程度以上 7~40%		
プレート間巨大地震	M8.0~8.6程度 7%	M7.8~8.5程度 70%程度	M7.7~8.5前後 60%程度
ひとまわり小さいプレート間地震	M7.0~7.5程度 80%程度		M7.5程度 90%程度
十勝沖から択捉島沖にかけての海溝寄りのプレート間地震(津波地震等)	Mt8.0程度・50%程度		
沈み込んだプレート内のやや浅い地震	M8.4前後・30%程度		
沈み込んだプレート内のやや深い地震	M7.8程度・50%程度		
海溝軸外側の地震	M8.2前後・確率不明		

1. 北海道地方支部の災害時への取組

(3) 千島海溝沿い超巨大地震検討小委員会の発足

1) 最終目標

応援・受援体制報告書の作成と訓練の計画・実施

2) 検討事項

- ① 想定地震と水道施設被害の把握
- ② 受援水道事業体への応援態勢の設定
- ③ 道内における給水車保有状況の調査と災害協定締結
(自衛隊、北海道開発局、民間事業者など)
- ④ 備蓄物資の保有状況の把握
- ⑤ 中継施設（中継水道事業体）のリスト化
- ⑥ 給水基地（支援拠点水道事業体）のリスト化
- ⑦ 応援・受援マニュアルの作成
- ⑧ 他の地方支部からの派遣可能な給水車の把握 など

2. 北海道胆振東部地震における被災地への支援活動

(1) 調査隊の派遣

- 9名派遣（6日間、延べ33名）

日時	名称	活動内容	派遣先	派遣元	派遣期間
9/ 7(金) 11:00	第1次調査隊 の派遣(3名)	被害状況・支援ニーズの把握 (支援の要否の聞き取り)等	厚真町、安平町、日高 町、むかわ町、平取町	札幌市	9/ 7～ 9
9/ 8(土) 11:00	第2次調査隊 の派遣(3名)	被害状況調査	安平町	札幌市	9/ 8～11
9/ 9(日) 11:00	第3次調査隊 の派遣(3名)	被害状況調査	厚真町	札幌市	9/ 9～12



2. 北海道胆振東部地震における被災地への支援活動

(2) 現地対策本部の設置

- 32名派遣（18日間、延べ125名）

日時	名称	活動内容	派遣先	派遣元	派遣期間
9/9(日) 12:00	現地対策本部の設置	応援体制の整備、 指揮命令系統の確立等	安平町	札幌市、室蘭市・苫小牧市	9/ 9~20
9/12(月) 12:00	現地対策本部 厚真分室の設置	応援体制の整備、 指揮命令系統の確立等	厚真町	苫小牧市、札幌市	9/12~20
9/21(金) 9:00	現地対策本部の 移転・規模縮小	安平町の復旧の目途が立ったため、 厚真町に本部を移転	厚真町	札幌市、室蘭市・苫小牧市	9/21~26
9/26(火) 17:00	現地対策本部の 解散	厚真町の復旧の目途が立ったため、 本部解散。以降、道南地区で対応	—	—	—

現地対策本部



応援隊とのミーティング



2. 北海道胆振東部地震における被災地への支援活動

(3) 応援活動（10/12時点）

1) 資材の提供（受援水道事業者：札幌市、江別市）

14事業者、給水袋23,800枚

[道央]千歳市、石狩市、恵庭市、倶知安町、[道東]帯広市、音更町、[道西]函館市、北斗市、長万部町、七飯町、[道北]旭川市、名寄市、富良野市、鷹栖町

2) 応急給水（受援水道事業者：厚真町、安平町）

10事業者、18日間(9/8～25)、延べ137名、給水車10台、仮設水槽7台

[道央]札幌市、千歳市、江別市、三笠市、[道東]帯広市、[道西]函館市、
[道南]室蘭市、苫小牧市、登別市、[道北]旭川市

3) 応急復旧（受援水道事業者：厚真町、安平町、日高町）

8事業者、35日間(9/8～10/12)、延べ717名

[道央]札幌市、千歳市、小樽市、岩見沢市、桂沢水道企業団、[道南]室蘭市、苫小牧市、
[道北]旭川市

